

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

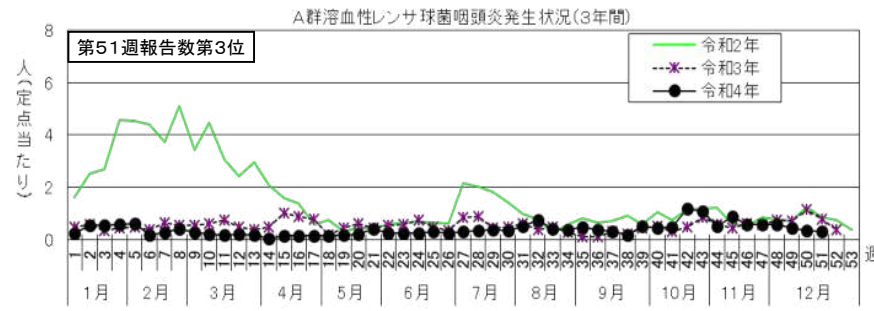
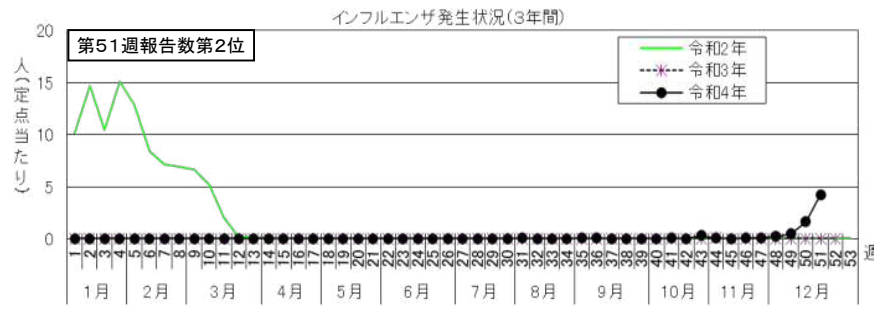
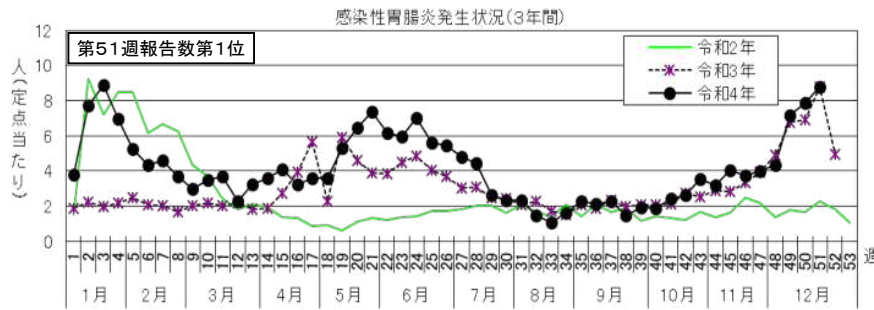
令和4年12月19日（月）～令和4年12月25日（日）〔令和4年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.78人と前週（7.86人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.23人と前週（1.64人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.32人と前週（0.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



年末年始はインフルエンザにも注意しましょう

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和4年第51週（12月19日～25日）に11693件と、依然として多い状況です。また、インフルエンザの定点当たり報告数が4.23人と前週から増加しており、今後の感染拡大に注意が必要です。

インフルエンザであっても基本的な感染対策は同じです。手指衛生や換気、人混みでのマスクの着用等に加え、特に年末年始は大人数での集まりを控えることも重要です。また、少しでも体調がすぐれない場合は、自宅でゆっくりお過ごしください。

年末年始の感染対策

軽い咳やのどの痛み等、体調がすぐれない場合は人との接触や外出を控える。

人が集まる場所では定期的に換気を実施



大人数での集まりは控え、人混みや乗り物の中ではマスクを着用

